

MUTOH

Creation, we make it happen ...

Liner Board UT-06

高精度・高操作性の平行定規——〈A2 対応〉

一級・二級建築士 受験用平行定規

Good Partner



充実機能で軽量な A2 平行定規スタンダードモデル

使いたいときにいつでも使えるキャリータイプの平行定規ライナーボードシリーズ。

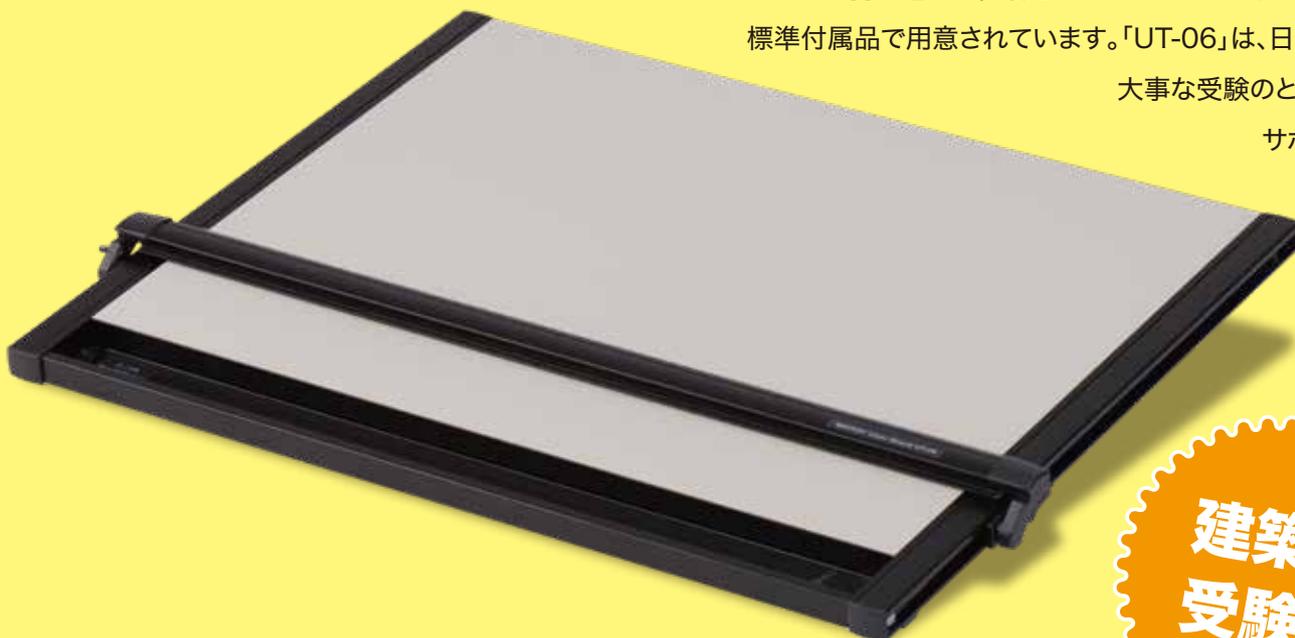
ライナーボード「UT-06」は、基本機能を搭載したスタンダードモデルです。

スケールの駆動はワイヤーが図板に組み込まれたワイヤー・プーリー方式。

図面の貼り替えに便利なマグネード製図板や、図板の傾斜角度調整など必要な機能は全て搭載。

持ち運びに便利なソフトケースのキャリングケースが標準付属品で用意されています。「UT-06」は、日常の練習から

大事な受験のときでも強力にサポートします。



建築士
受験用

ライナーボードはあなたを強力にサポートします

多機能で軽量、コンパクト。

Liner Board UT-06

① 持ち運びがラクな軽量“2.9kg”

専用設計の木製図板による軽量設計。付属のキャリングケースで建築士試験会場へもラクラク持ち運びできます。



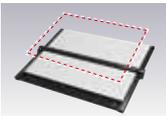
② 滑り止め“スポンジ”& 脚ゴムで快適作図

奥行の狭い机でも製図を可能にした滑り止めスポンジと脚はゴム製ストッパを装備しています。



③ 多くの図面に対応できる“A2サイズ”

438×600mmの製図範囲はA2サイズをカバーしているので安心して作図ができます。



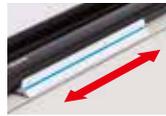
④ 疲れにくく汚れ防止“スケールグリップ”

指で図面をこすらない、汚れ防止グリップは長時間の製図にも疲れにくいスケールグリップ形状です。



⑤ 三角スケールを装着できる“スケールグリップ”

グリップ溝にセットした三角スケールを左右にスライドし、製図板のどこでも寸法の読み取りが可能です。



⑥ 図面汚れを防ぐ“スケールフローティング機構”

スケールをわずかに浮かせる無段階フロート調整機構は、図面を汚すこともなく動きも軽やかです。



⑦ 図面の固定、貼り替えに便利な“マグネードシート”

付属のドラフティング・プレートで粘着テープなど使わずにワンタッチで用紙の固定、貼り替えが行えます。



⑧ 傾斜角は1°、5°、10°の“3段階切換え”

製図板の傾斜角は好みに合わせて3段階の切り替えが可能なのでベストフィットを選べます。



⑨ スケールを自在に固定できる“ブレーキ機構”

スケール位置をワンタッチで固定するブレーキ構造で手ぶれを解消します。



⑩ 基線合わせに便利な“スケール微調整機構”

±5mmの範囲で基線合わせがスピーディにできる装備です。図面の貼り替え時に威力を発揮します。



⑪ 持ち運びがラクな“キャリングケース”

軽量で持ち運びに便利なキャリングケース付き。撥水加工を施しているため雨の日も安心です。オプションで、2WAYタイプで持ちやすくて衝撃に強いハードケースも用意されています。



【標準】ソフトケース

【オプション】ハードケース

■主な仕様

製図板：マグネード製図板
製図範囲：438×600mm
製図板サイズ：450×600mm
図板傾斜角度：1°/5°/10° 3段階切替
駆動方式：ワイヤー・プーリー
スケール微調整：±5mm×600mm

外形寸法：510×695×57mm
質量：約2.9kg
付属品：キャリングケース(ソフトケース) ドラフティング・プレート (300mm、500mm各2枚)
標準価格：¥52,250(税込)*

*別途送料が必要です。

「UT-06」は、一級・二級建築士試験会場に持ち込み可能です。

【設計製図試験で使用が認められる平行定規】

- ① 平行定規は、製図板に水平線を引くための定規のみがついているものに限る。
- ② 製図板は、大きさが45×60cm程度(A2用)のものまでとする。(平行定規の装着部分を含めた大きさは、製図板の1割程度大きいものまでとする。)なお、傾斜用の軽易なまわりの使用は可とする。ただし、使用に際しての製図板の傾斜角度は30度以下とする。

詳しくはHPをご覧ください。

<https://www.mutoh.co.jp>

MUTOH



安全に関するご注意

商品をお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●別途送料を申し受けれます。

●このカタログの希望小売価格および記載内容は令和5年12月現在のものです。

●製品の仕様と外観は改良等の理由で予告なく変更することがあります。

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7000(大代)

首都圏 TEL(03)6758-7002 FAX(03)6758-7011

中部 TEL(052)919-3530 FAX(052)919-3532

関西 TEL(06)6385-8622 FAX(06)6385-8623

九州 TEL(092)233-1373 FAX(092)233-1372

●お問い合わせは